

平成 2 8 年

全 員 協 議 会 記 録

平成 2 8 年 1 1 月 7 日

和 光 市 議 会

全 員 協 議 会 記 録

◇開会日時 平成28年11月7日（月曜日）
午前 9時30分 開会 午前10時04分 閉会

◇開催場所 全員協議会室

◇出席議員 15名

議 長	齊 藤 克 己 議員	副議長	齊 藤 秀 雄 議員
2 番	西 川 政 晴 議員	3 番	熊 谷 二 郎 議員
4 番	鳥 飼 雅 司 議員	5 番	内 山 恵 子 議員
6 番	吉 田 武 司 議員	7 番	村 田 富 士 子 議員
8 番	富 澤 啓 二 議員	9 番	猪 原 陽 輔 議員
10 番	待 鳥 美 光 議員	11 番	吉 田 け さ み 議員
13 番	安 保 友 博 議員	15 番	小 嶋 智 子 議員
16 番	金 井 伸 夫 議員		

◇欠席議員 3名

1 番	菅 原 満 議員	12 番	赤 松 祐 造 議員
14 番	吉 村 豪 介 議員		

◇出席説明員

市 長	松 本 武 洋	副 市 長	大 島 秀 彦
企 画 部 長	橋 本 久	企 画 部 次 長 兼 財 政 課 長	奥 山 寛 幸
秘 書 広 報 課 長	松 戸 克 彦	政 策 課 長	川 辺 聡
政 策 課 長 補 佐	梅 津 俊 之		

◇事務局職員

議 会 事 務 局 長	郡 司 孝 行	議 会 事 務 局 次 長	伊 藤 英 雄
議 事 課 長 補 佐	高 橋 澄 枝	主 事	小 林 厳

◇本日の会議に付した案件

第四次和光市総合振興計画実施計画（平成29年度～平成31年度）の決定について

その他

午前 9時30分 開会

○齊藤克己議長 ただいまから全員協議会を開催いたします。

なお、本日、菅原議員から定例監査のため、赤松議員から都合により、吉村議員から体調不良により、欠席届が提出されております旨報告します。

初めに、市長より挨拶をお願いいたします。

松本市長。

○松本市長 皆様、こんにちは。

議員の皆様におかれましては、市政運営に関しまして、日ごろから格別の御理解、御協力を賜りまして厚く御礼を申し上げます。

本日は、平成29年度から平成31年度までの3カ年の第四次和光市総合振興計画実施計画の採択内容について、説明をさせていただきます。

平成29年度におきましても、例年同様、引き続き厳しい財政運営となることが見込まれております。そのため、実施計画の策定に当たっては、市としての経営の方向性を示した平成29年度和光市行政経営方針を定めておりますが、今年度から新たに、一般会計の投資的事業及び臨時的事業を対象に部局別採択可能事業費を設定し、投資的事業、臨時的事業については、部局長のマネジメントによる事務事業の精査を徹底しております。

また、経常的事業については、実施計画では概要として事業採択することとし、その事業費の内訳については、予算調製において厳正かつ詳細に審査を行うことに変更しております。

事務事業の採択に当たっては、各施策の方向性、優先度、取り組みの進捗状況、コスト増加等の必要性など、総合的に勘案して採択しておりますが、採択事業の総額は、現時点で市の措置し得る財源の規模を大幅に超えております。今後の予算調製において、特に経常的事業については、これから精査を行ってまいりますので、採択された全ての事業がそのまま予算案に反映されるわけではないということを、ぜひとも御理解くださいますようお願いいたします。

○齊藤克己議長 市長は、公務のためこれで退席いたします。

〔市長退席〕

本日の案件は、第四次和光市総合振興計画実施計画（平成29年度～平成31年度）の採択内容についてです。資料は既に配付済です。

それでは、橋本企画部長、続いて、川辺政策課長から説明願います。

橋本企画部長。

○橋本企画部長 それでは、第四次和光市総合振興計画実施計画の概要と策定の経緯について説明させていただきます。

初めに、概要について御説明申し上げます。当市の財政状況については、歳入面において、その根幹である市税が個人市民税、市たばこ税の減少等により前年度当初予算額を下回る見込みであり、総額として前年度当初予算額に比べ6億円を超える減額となっております。一方、

歳出面においては、新たな保育園整備、下新倉小学校開校等により、公共施設の管理運営に要する経常的経費の増額等が見込まれております。また、当市は、平成 23 年度から普通交付税の交付団体となっておりますが、平成 28 年度において 6 年ぶりに不交付団体となったことから、平成 29 年度以降の国庫補助金等については、補助率の見直し等により、これまで交付されていた額を確保することも困難になることが予想されるなど、平成 29 年度の財政見込みでも依然として厳しい状況にあります。

このような財政状況においても、基本構想に掲げる将来都市像「みんなでつくる快適環境都市わこう」の実現を目指し、現状に危機感を持ち、課題を先送りしない行政経営を実践するため、平成 29 年度から平成 31 年度までの 3 カ年の実施計画を策定いたしました。

続きまして、計画策定の経緯について御説明申し上げます。

資料 1 の 4 ページをごらんください。

実施計画策定までの事務フローをお示ししました。平成 29 年度におきましても、PDCA のマネジメントサイクルにより、年度当初に前年度の施策、事務事業について行政評価を行い、その後、行政経営の基本的な方針と施策の方向性を示す指針として、平成 29 年度和光市行政経営方針を策定し、その方針に基づき実施計画の策定作業を実施してまいりました。今後の予算編成作業へと続く流れとなっております。

続いて、5 ページをごらんください。

計画期間内の事業費一覧であります。

一般会計（A）の平成 29 年度実施計画事業費の合計欄をごらんください。

一般会計の事業数は、268 事業で、事業費は、約 174 億 6,300 万円となっております。平成 29 年度行政経営方針では、採択可能事業費を 160 億円としていることから、約 14 億 6,300 万円超過しておりますが、これは、経常的事業の事業費が超過していることによるものです。

先ほど市長からも御説明申し上げましたが、今年度から、一般会計の投資的事業及び臨時的事業を対象に部局別採択可能事業費を設定いたしました。その採択可能事業費の総額は、23 億円としております。行政経営方針では、採択可能事業費を 160 億円とし、そのうち経常的事業については、平成 28 年度当初予算ベースで、137 億円を見込んでおり、その差額である 23 億円が投資的事業及び臨時的事業の採択可能事業費となっております。ごらんいただいている一覧表でも、平成 29 年度に採択した一般会計の投資的事業費 22 億 24 万 4,000 円と臨時的事業費 7,951 万 6,000 円、そして新規事業費 2,045 万 2,000 円、その総額がほぼ 23 億円であることがおわかりいただけたと思います。

実施計画では、経常的事業については、概要として事業採択することとし、その事業費については、予算調製において厳正かつ詳細に審査を行うことから、実施計画の段階では審査を行っていないため、約 14 億 6,300 万円超過した状態での採択となっております。なお、現在、各課から予算見積書が提出され、今後、当初予算ヒアリングを実施してまいりますが、経常的事業、また、投資的事業、臨時的事業についても、予算調製において十分に精査し、事業費の

圧縮を図ってまいります。

以上が実施計画策定に当たっての概略でございますが、実施計画における各施策、方針における主な事業につきましては、担当である政策課長から説明させていただきますので、よろしくお願いいたします。

○齊藤克己議長 川辺政策課長。

○川辺政策課長 それでは、配付した資料に基づき、採択内容及び各施策ごとの主な内容について、重点施策を中心に概要を説明させていただきます。

資料1につきましては、各事務事業の詳細になりますので、資料2と3を使用して、順に説明させていただきます。

初めに、資料の2をごらんください。

1の採択額及び採択事業数につきましては、一般会計、特別会計及び企業会計を含め、合計で309事業、204億9,331万円となっております。先ほども御説明をいたしました、経常的事业については、予算調製で審査を行いますので、現在、採択可能事業費より超過した額となっております。

2の基本目標別採択額につきましては、基本目標ごとに採択事業数及び採択額を示しております。前年と比較しますと、基本目標Ⅲ、保健・福祉・医療は、事業数、採択額ともに増加していますが、他の4つの基本目標では、いずれも事業数、採択額ともに減少しており、実施計画採択額における基本目標Ⅲの事業費の割合が増加傾向にあります。

次に、資料3をごらんください。

資料3は、実施計画で審査した投資的事業、臨時的事業、新規事業の一覧になります。全部で70事業になります。それぞれの事務事業について、実施計画の採択額のほか、平成28年度当初予算額、それと採択額との差額を記載しております。なお、各事業の詳細につきましては、資料1を御参照くださいますようお願いいたします。

それでは、各施策ごとの主な内容について説明をさせていただきますが、時間の関係上、実施計画採択額が平成28年度当初予算額と比較して1億円以上の増額、または減額となった9事業について説明させていただきます。

まず、施策の1、中心市街地にふさわしい駅北口周辺の整備における特別会計の駅北口土地区画整理推進でございます。資料1では、17ページになります。

この事業につきましては、引き続き地権者の合意形成に努めながら、駅北口土地区画整理事業を推進するため、用地取得費や移転補償交渉の進捗が早い地域を中心に実施する移転に伴う補償金及び移転後の宅地造成及び区画道路の築造工事に要する費用を増額して採択をしております。

次に、施策4、良好な居住環境の形成における越後山土地区画整理組合活動支援でございます。資料1では、20ページになります。

この事業につきましては、越後山土地区画整理組合に対する和光市組合等まちづくり整備事

業補助金の残額が約 12 億円であることから、事業の終了予定年度である平成 31 年度に向け、補助金を増額して採択しております。

次に、同じ施策 4 の良好な居住環境の形成における中央第二谷中土地区画整理組合活動支援でございます。資料 1 では、21 ページになります。

この事業につきましては、平成 29 年 5 月に予定している換地処分以後、事業内容が清算事務等が中心となることから和光市組合等まちづくり整備事業補助金を減額して採択しております。

次に、施策 9、計画的な公園の整備と維持管理の充実におけるアーバンアクア公園整備でございます。資料 1 では、35 ページになります。

この事業につきましては、平成 29 年度においてアーバンアクア公園の一部開放を予定しておりますが、整備内容の見直しを求め、公園整備工事に要する経費を減額して採択しております。

次に、施策 11、安全な水の安定供給における浄水場施設改良でございます。資料 1 では、37 ページになります。

この事業につきましては、南浄水場第 3 配水池築造工事が平成 28 年度で終了し、平成 29 年度では主な工事が酒井浄水場 3 号配水ポンプ改修工事と酒井浄水場自動水質計器等更新工事であることから、工事請負費を減額して採択しております。

次に、施策 13、雨水対策の推進における雨水整備でございます。資料 1 では、43 ページになります。

この事業につきましては、越戸川第 1 号雨水幹線整備工事を平成 29 年度と平成 30 年度の 2 カ年の事業として実施することから、工事請負費を増額して採択しております。

次に、施策 18、安全でおいしい学校給食の充実における給食施設整備でございます。資料 1 では、59 ページになります。

この事業につきましては、第二中学校給食室改築工事が平成 28 年度で終了し、平成 29 年度では第三中学校における給食室空調機設置工事のみであることから工事請負費を減額して採択しております。

次に、資料の裏面になります。施策 32、多様な保育サービスの推進における民間保育所等基盤整備でございます。資料 1 では、102 ページになります。

この事業につきましては、平成 28 年度は新設保育園整備補助金が中央エリア新設保育園整備、ひろさわ保育園改修、また、小規模保育事業所 3 園の改修を対象としておりましたが、平成 29 年度においては小規模保育事業所 4 園の改修が対象となることから新設保育園整備補助金を減額して採択しております。

最後に、施策 38、介護サービスの適正な提供における地域密着型サービス拠点等整備でございます。資料 1 では、129 ページになります。

この事業につきましては、北エリアに地域密着型特別養護老人ホーム及び併設定期巡回を、

中央エリアにグループホーム及び併設小規模多機能をそれぞれ整備することから、地域密着型サービス等整備助成事業等補助金を増額して採択しております。

以上、実施計画のうち、実施計画採択額が平成28年度当初予算額と比較して1億円以上の増額、または減額となった9事業について説明させていただきました。

○齊藤克己議長 以上で説明が終了しましたので、質疑を行います。

先ほど説明がありましたとおり、経常的経費については予算調製で審査を行うということですから、投資的事業、臨時的事業の施策の中の説明を受けた部分で質疑を願います。

吉田けさみ議員。

○吉田けさみ議員 今回の投資的事業、臨時的事業を中心に説明がありました。今後経常経費の見直しの必要があり、調製をする必要があるとのことでしたが、具体的にどのような事業の見直しになっていくのか。

○齊藤克己議長 橋本企画部長。

○橋本企画部長 経常的な事業でございますから、例えば福祉関係が大きな部分を占めると考えられます。予算のヒアリングの段階で、制度を説明していただき、必要性について今後検討していくことになると思います。

○齊藤克己議長 金井議員。

○金井伸夫議員 5ページの説明の箇所でお伺います。平成30年度の事業費が平成29年度と比べて20億円程度増加しています。平成30年度が増加すると見込んでいる理由、背景があれば伺います。

○齊藤克己議長 橋本企画部長。

○橋本企画部長 平成29年度が今回の3カ年の事業計画のメインとなっています。平成29年度に緊急性がなかったり安全性の面から先送りできる事業があれば、平成30年度以降に先送りしている状況がございます。その分が増加しているという形でございます。

○齊藤克己議長 金井議員。

○金井伸夫議員 裏づけとなる財源の見通しは、平成30年度はある程度立っているのでしょうか。

○齊藤克己議長 橋本企画部長。

○橋本企画部長 ただいま申し上げましたとおり、平成29年度がメインとなっております。平成30年度以降の歳入の見込みについては不確定な部分が多々あるということでございます。

○齊藤克己議長 鳥飼雅司議員。

○鳥飼雅司議員 施策の中の優先度でA、B、Cと分かれていて、事業の規模によって金額の規模などが変わってくると思います。優先度Bの事業で、それなりに増えていると思うのですが、このあたりはどのような形で計画を立てられているのか。

○齊藤克己議長 川辺政策課長。

○川辺政策課長 優先度については各所管のほうで評価しております。先ほども御説明いたし

ましたが、今年度から各部局別の採択事業額を設けております。これについては部局内で、より詳細なマネジメントをしていただいて、金額については部局長の考えが反映されているというところでございます。

○齊藤克己議長 吉田けさみ議員。

○吉田けさみ議員 市債について、償還金を上回らないという基準にしているわけですが、この金額はいくらくらい予定しているのか。

それから不交付団体になるということで、これまで確保してきた予算も縮小されるわけですが、影響額はいかがでしょうか。

○齊藤克己議長 奥山財政課長。

○奥山財政課長 市債については、現時点では一般会計で8億円、駅北口土地区画整理事業特別会計で4億円、計12億円を予定しております。不交付団体になったことによる補助金等の影響額については積算しておりませんが、今後行っていかなければならない学校施設の非構造部材の耐震補強などについては、補助率がそれによって異なるのですが、補正予算に計上して、財政的な影響がない形で行っていきたいと考えています。

○齊藤克己議長 西川議員。

○西川政晴議員 17ページの投資的事業で、北口が今年度からだいぶ大きな予算を占めているのですが、今後3年間の予定を見ると、政策課のほうで、今後これだけの投資資金を使っても、状況的に準備ができたという判断に基づいて査定が行われたかどうか。その辺をお聞きしたい。

○齊藤克己議長 川辺政策課長。

○川辺政策課長 先ほども御説明しましたが、今年度から部局別の採択可能事業費ということで、各部局長が今まで以上に精査して提出してきた実施計画となります。平成30年度、平成31年度については地権者の方との合意形成という面がございますが、少なくとも平成29年度は実態に合った実施計画だと考えております。

○齊藤克己議長 西川議員。

○西川政晴議員 なかなかこのような事業というのはままならない部分があつて、特に駅北口については、遅れては困るという市民の声があります。策定過程において予算上十二分に受け入れられると。その辺が100%ではなくとも、90%くらい十分な状況ができたという受け取り方をしてよろしいでしょうか。

○齊藤克己議長 橋本企画部長。

○橋本企画部長 市としても、重点施策のひとつでございますので、実施計画上力を入れている事業でございます。御理解をいただければと思います。

○齊藤克己議長 村田議員。

○村田富士子議員 来年度は今年度と比べて税収がマイナス6億円で、不交付団体にもなったということで、本当に大変な状況になってくると思います。確認ですが、先ほど今後のヒアリングの中で超過分は今後調製を図っていくということでしたが、個別の採択可能事業、投資的

事業、臨時的事業についてはこのまま行くということになるのでしょうか。これもヒアリングによって調製ということになってくるのか。

○齊藤克己議長 川辺政策課長。

○川辺政策課長 こちらについても、財政課で行う予算査定の中では当然査定の対象に入ります。

○齊藤克己議長 橋本企画部長。

○橋本企画部長 実施計画でございますので、事業自体を採択したと。金額は予算の範囲内で査定をします。採択された額がそのまま予算でつくということではなく、全体的な調製があるということで御理解いただきたいと思えます。

○齊藤克己議長 村田議員。

○村田富士子議員 大変な財政状況になってきますが、その中でこれだけの事業の中で、かなりの金額が今後削減されると思えますが、市民サービスが低下することのないようにしていただきたいと思えます。これは要望なのですが、その辺の見通しについてはどのように見ているのか。確認をさせてください。

○齊藤克己議長 橋本企画部長。

○橋本企画部長 市民サービスが低下しないように心がけることは当然であります。全体的にパイが限られておりますので、その中でいかに効率的に行政を行っていくかを加味して行っていきたいと思えます。

○齊藤克己議長 ほかに各議員からございますか。

〔「なし」という声あり〕

なければ、本日の協議事項はこれにて終了いたしました。

記録については、正副議長に一任願います。

以上で全員協議会を閉会いたします。

午前10時04分 閉会

議 長 齊 藤 克 己

副 議 長 齊 藤 秀 雄